



芝川小だより

8・9月号 No.5

令和8年8月26日

さいたま市立芝川小学校



思いを紡いで

長かった夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。静かだった校舎に笑顔があふれ、一人一人の表情から、夏休み中のさまざまな体験や思い出が伝わってくるようです。

さて、夏休み中の7月29日、大宮国際中等教育学校において「さいたま市ストップいじめ!子どもサミット」が開催されました。このサミットは、市内の小・中学校の児童生徒代表をはじめ、教職員や保護者、地域団体、関係行政機関の方々が一堂に会し、いじめ防止について共に考える取組です。今年度のテーマは「紡ぐ(つむぐ)」。「紡ぐ」には、「一人一人の思いや言葉をより合わせて価値あるものをつくる」というニュアンスがあり、これまでの「知る」「つなぐ」を受け継ぎながら、人と人とのつながりをさらに深め、よりよい関係を築いていこうという願いが込められています。

本校からは児童会長、児童会担当教職員、PTA 副会長、校長が参加しました。第二東中学校、海老沼小学校の皆さんとともに、クイズを通して「これっていじめ?」について考えたり、「ストップいじめ!」を実現するために大切な言葉について話し合ったりしました。



最後には、全ての参加者が体育館に集まり、話し合った内容をもとに、大宮区のスローガン『「あいさつ」と「感謝」の桜を咲かせよう』を完成させました。グループでの話し合いでは、子どもたちが互いの意見をしっかり聞き合いながら、「友達や先生だけでなく、地域の皆さんとのつながりも大切にしたい」「大宮区の花である桜のように、温かな輪を広げたい」という思いを言葉にしていました。その姿からは、自分たちの力でよりよい学校や地域をつくっていこうとする意欲が感じられ、とても頼もしく思いました。今後は、このスローガンをもとに各学校で取組を進め、交流を図りながら「子どもの意見を生かした地域ぐるみのいじめ防止活動」を推進していきます。芝川小学校でも、児童会を中心に活動を進めていく予定です。子どもたちがどのようなアイデアを出し、行動へとつなげていくのか、今から楽しみにしています。



2 学期は運動会をはじめ、子どもたちが楽しみにしている行事が数多くあります。一人一人の主体性を大切にしながら、やりがいや達成感を味わえるよう、教職員一同温かく見守り、支援してまいります。2 学期も、どうぞよろしくお願いいたします。